

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月25日		記入者		連絡先 短縮：642
部 名	環境事業部	課 名	南清掃工場	課長名	松本
事務事業名	南清掃工場施設維持補修事業				
予算上の事務事業名	施設維持補修費 南清掃工場				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21220	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び環境基本法関係法令ほか				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	焼却設備及び施設に必要な修繕を行いその機能を維持し、ごみを適正に処理する。			(2) 対象 (誰、何)	
				南清掃工場、市民	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。	南清掃工場の機能維持のため各種修繕を行なった。 ・総事業費 304,373千円 ・需要費 304,373千円 (施設修繕料)				
6 関連・類似事業や他市の状況	県下の清掃工場：横浜市 (5工場)、川崎市 (4工場)、横須賀市 (1工場) ほか				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	275,112	290,246	304,373	260,000	260,000
一般財源	93,885	116,628	287,739	184,230	184,230
受益者負担金	181,227	173,324	16,634	75,770	75,770
その他の特定財源	0	294	0	0	0
人件費の合計	19,187	19,324	19,930	18,126	18,126
事業コスト合計	294,299	309,570	324,303	278,126	278,126
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	南清掃工場施設維持補修事業 (施設修繕に係る事務)			対象名称と単位	ごみ焼却量 (t)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	294,299	309,570	324,303	278,126	278,126
対象数	111,105	106,290	98,195	98,040	0
単位あたり経費(円)	2,649	2,913	3,303	2,837	#DIV/0!
前年度比		1.10	1.13	0.86	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	南清掃工場稼働日数（日）	指標式と指標の説明	南清掃工場の稼働（ごみ焼却）日数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	360.0	359.0	359.0		
目標	360.0	359.0	359.0	359.0	360.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	自主基準値遵守達成率（%）	指標式と指標の説明	ISOに基づく自主基準値（ダイオキシンほか）の遵守達成率		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		清掃工場機能維持のための修繕は、施設の老朽化に伴い経費増加につながる。清掃工場の建替が予定されていることを考慮し事業を行わない。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
設備の修繕は専門的技術・知識を有する民間会社に依頼している。清掃工場の建替が予定されている事を考慮して修繕を実施する。			ごみの排出量削減、再資源化などにより焼却量を減らし工場施設及び環境への負担を減らす必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			